

# チャペル週報

No. 23

2012.11.19~11.22

わたしはぶどうの木、あなた方はその枝である。  
人がわたしにつながっており、私もその人につなが  
っていれば、その人は豊かに実を結ぶ。

(ヨハネによる福音書15章5節)



神戸三田キャンパス I 号館

関西学院宗教センター

---

☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

11月19日(月) 神 鍋 谷 由美子 (神学研究科M2)

経 舟 木 讓 (宗教主事)

人 宮 野 麻 里 (人間福祉学部4年)

聖和 聖書物語「とらえられたイエス・ペテロの否認」

---

11月20日(火) ランバスチャペルアワー ランバス記念礼拝堂

神 ランバスチャペルアワーに合流

文 Andreas Rusterholz (宗教主事)

社 動詞シリーズ「つながる」④ 佐 藤 哲 彦 (社会学部教授)

法 ボランティア活動の勧めII 上ヶ原ハビタット

経 音楽チャペル 聖歌隊

商 海外での奉仕を考えるチャペル「学生によるインド海外研修報告②」

国 三 宅 康 之 (国際学部教授)

聖和 Nikolaus Suyasa (インドネシア Bali PEP協会)

総 井 上 理 子 (公益財団法人PHD協会職員)

---

11月21日(水) 神 阪 口 新 (神学研究科M2)

社 秋の音楽チャペル④ ハンドベルクワイア

法 「瞑想 ミレニアム開発目標Ⅶ」 Christian M. Hermansen (宣教師)

経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)

商 阪 智 香 (商学部教授)

人 Els-Marie Anbäcken (スウェーデン・リンショーピン大学教員)

国 収穫を感謝して

聖和 「そこに身をおいて」吉 新 ば ら (キリスト教教育・保育研究センター)

理 賛美礼拝 理工学部アンサンブル

総 村 瀬 義 史 (宗教主事)

---

11月22日(木) (秋学期補講日) 学部合同チャペル ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)

平 林 孝 裕 (大学宗教主事)

---

# 「収穫感謝日」を覚えて

—二つの歴史と二つの喜びを味わう時として—

舟 木 讓

アメリカでは、11月の第4木曜日を“Thanksgiving Day”と呼ばれる休日と定めています。今では史実か否かの確認は難しいようですが、その起源は、約400年前に移住した人々が、先住民の人々の協力で、豊かな収穫を得たことへの感謝の集いがあったと言われます。しかしやがてその移民の歩みは、紛れもない史実として、先住民の虐殺という犠牲を伴った歴史となります。その結果、1970年からニュー・イングランドの先住民たちは、その事実を風化させない為に、同じ日を「全米哀悼の日（National Day of Mourning）」と定め、過去の悲劇を想起し抗議する為の運動を始め、現在も続いています。同じ日が立場を違えば一方では喜びの記念日となり一方では悲しみの記念日となることは、日本の敗戦記念日も同様であるように、歴史の中で常に忘れてはならない視点だと言えるでしょう。

以上の事実を踏まえた上で、この時期に改めて「収穫」という意味に思いを致すとき、私達は民族や宗教・信条等々の区別なく、自分たちの力を越えたものによって日々支えられているという端的な事実に合わせて行き着くのではないのでしょうか。

秋は一般に実りの季節と言われ、日本国内でも様々な食材が食料品店を彩り、そこには作り手の苦勞と誠意そして矜持が詰まっております。しかし、台風等の自然災害が収穫前にその地を襲えば豊かな実りは望めません。ここから、人知を超える自然の恵みと力の前で、人間は極めて無力であり、その意味において相対化されざるを得ないという事実には気づきます。ただ、私たちは普段、自らの価値観や主義・主張に絶対的な信頼を置いたり、その延長線上で自分以外のものに様々なレッテルを張って安心したりしております。そして、人間をはじめとしてこの世に存在するものは本来相対的な存在でしかないという事実には気づかず、むしろ逆に「断定」を「安定」と感じがちです。ところが、「断定」はともすれば自分以外のものを「愚か」と断じたり「優れている」として自らを卑下したりして、いのちの序列化を当たり前のことと錯覚し、無益な「争い」へと発展しがちです。

「収穫感謝日」の背後にある二つの歴史の意味を今真摯に振り返り、無益な序列化の有する空虚さを「美味しい」実りで我々に教えてくれるこの季節を、感謝して共に味わいたいと思います。

(経済学部宗教主事)

## ●キリスト教と文化研究センター主催講演会

「日本人の心に届く『ことば』を求めて」— 津波を越えて、闇から光へ —

山浦玄嗣(やまうら はるつぐ)氏講演会

と き:11月19日(月) 11:10~12:40

ところ:関西学院大学G号館202教室

山浦玄嗣氏は、岩手県大船渡市出身の医師。東北大学抗酸菌病研究所放射線医学部門助教授、宮城県で医療法人病院長を歴任し、現在は山浦医院病院長。1966年東北大学医学部卒。ケセン語の提唱者として有名で、1975年頃からケセン語の研究に取り組み、1990年に地方文化振興に尽力したことを認められ、岩手県教育表彰受賞。カトリック大船渡教会信徒であり、キリスト教関連の著書も多数。「ケセン語訳聖書」はギリシア語の原典から翻訳し、ローマ教皇庁に献上された。

## ●2012年度大学主催秋季人権問題講演会

総合テーマ: Culture of Human Rights — 人権文化を育む (2010年度~2014年度)

「平和への権利」の文明的意義:「人間の不安全」マイノリティ中心の「世直し」

講師:武者小路公秀(むしゃこうじきんひで)氏

(大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター特任教授、国際NGO IMADR(反差別国際運動)副理事長、ピース大阪会長、ヒューライツ大阪会長、日本人間安全保障学会会長)

1. と き:2012年11月20日(火) 9:00~10:30

ところ:西宮上ヶ原キャンパス B号館301号教室

2. と き:2012年11月21日(水) 11:10~12:40

ところ:西宮聖和キャンパス 6号館613教室

本講演会では手話通訳による情報保障を予定しています。

また、録音、録画を行い図書館資料として保存しますのでご活用下さい。

## ●2012年度 人権教育研究室研究部会公開研究会

メインテーマ:「今ここにある『貧困』の現実」

パート2 サンフランシスコにおける貧困・ホームレス・HIV — 現状とケア体制 —

と き:11月30日(金) 9:00~10:30

ところ:関西学院大学図書館ホール

講師:Barry D.Zevin氏(医師) 通訳あり

## ●第192回ランパス演奏会のご案内

「パーセル&キャロル」

平井満美子(歌)、佐野健二(リュート)

演 目:夕べの賛歌、美しい島、さよなら美しい人、リュートブックララバイ、ほか

と き:12月6日(木) 17:00開演

ところ:ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催:関西学院宗教センター <入場無料>

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストです。現在までに発売されたデュオCD全ては雑誌「レコード芸術」の推薦盤に選ばれ、デュオリサイタルに対しては「大阪文化祭本賞」を受賞するなど各方面から注目されています。

## ●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費はチャリティーとしてアジアにおける奉仕活動などのために献金させていただきます。

開催日時:12月21日(金) 17:30開場 18:30開始

参加費:2000円

チケット販売:関西学院大学生協/チケットぴあ/ザ・シンフォニーホールプレイガイド

お問い合わせ:宗教センター 0798-54-6018